

令和4年度 全国学力・学習状況調査

児童・生徒質問紙の調査結果について ①

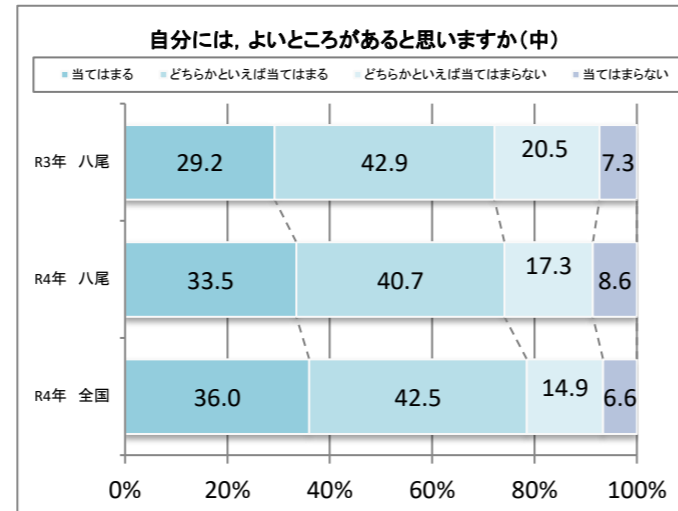
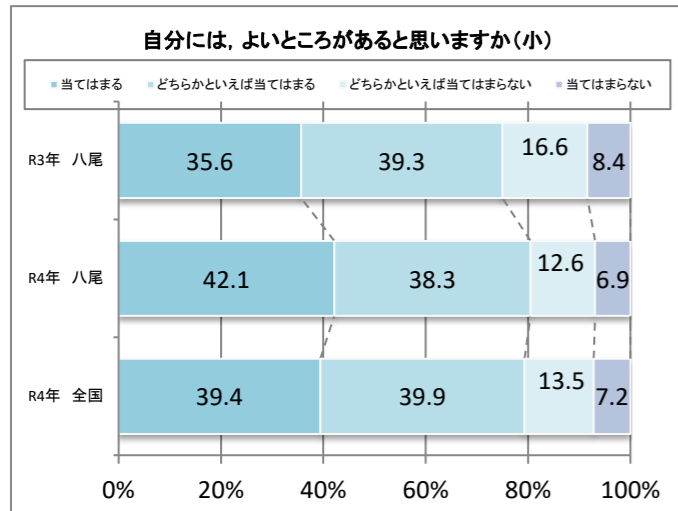
豊かな人間性について

- 小・中学校ともに「自分にはよいところがある」と答えた子どもの割合が増加した。
- 中学校では「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」や「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた子どもの割合が増加した。
- ◆ 小・中学校ともに「将来の夢や目標を持っている」と答えた子どもの割合が減少した。
- ◆ 小・中学校ともに「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と答えた子どもの割合は全国との差が大きい。
- 学ぶことと社会とのつながりを意識しながら、主体的・協働的に学ぶ意欲・態度を育むとともに、他者との豊かな人間関係を形成するためのコミュニケーション能力を育成するために、キャリア教育をより一層充実させていく必要がある。

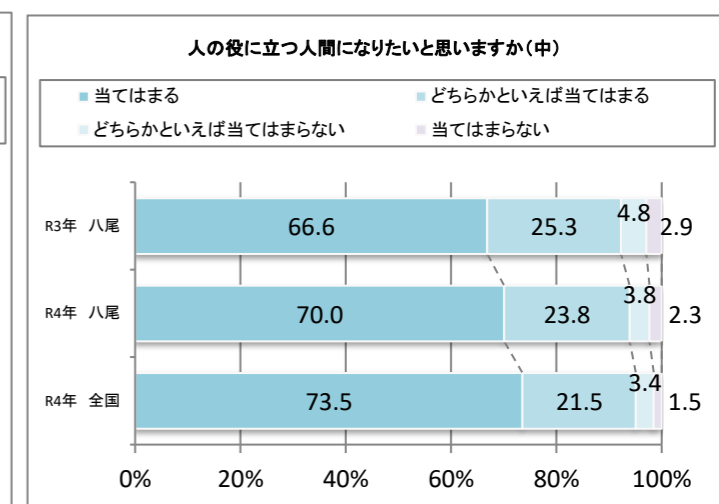
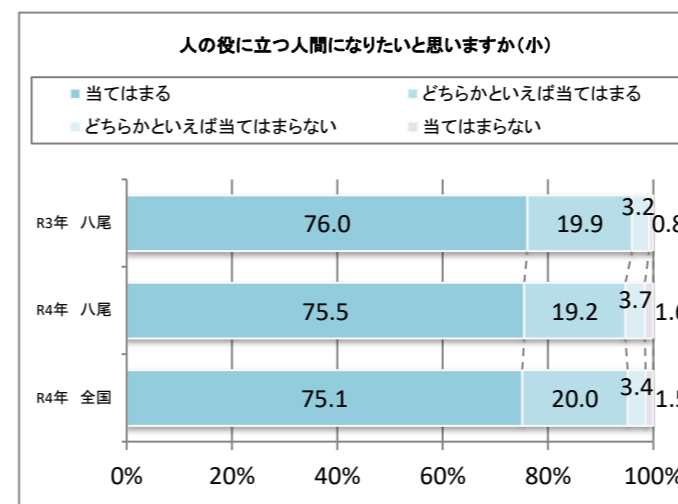
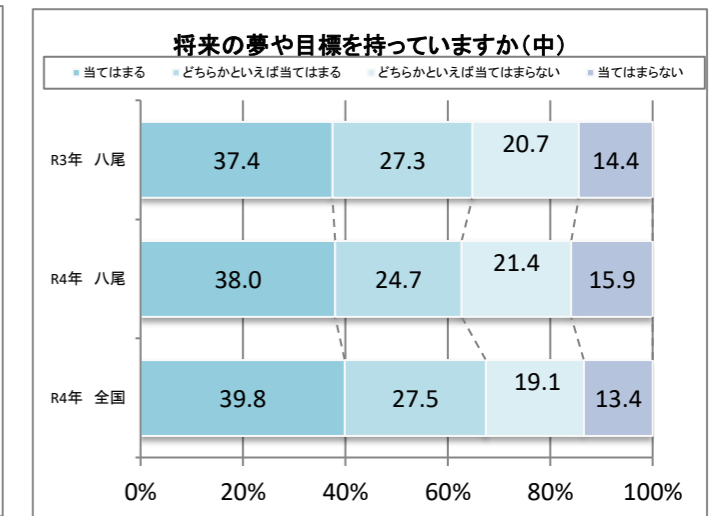
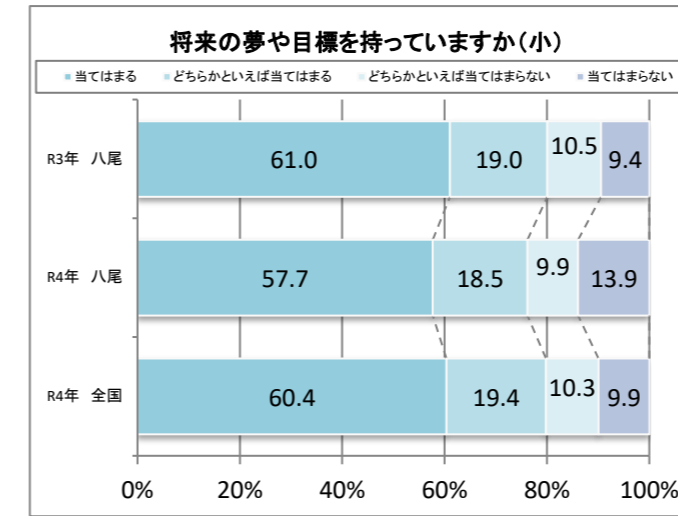
《 調査について 》

※グラフ内の数値は、無回答はデータに反映していないため、合計値は100にならない場合がある。
 ※小学校69調査設問、中学校69調査設問のうち、市として重点を置いている項目を抜粋して記載している。

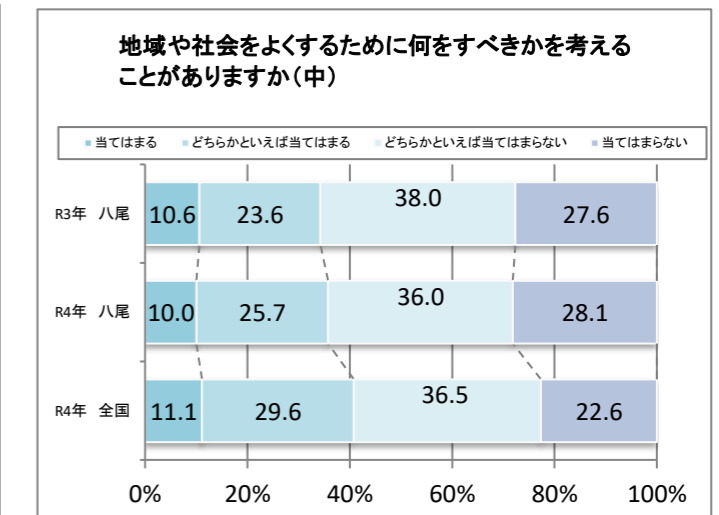
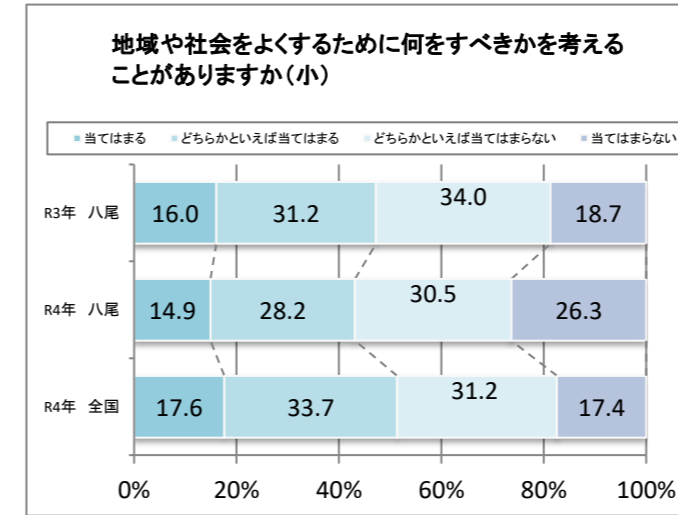
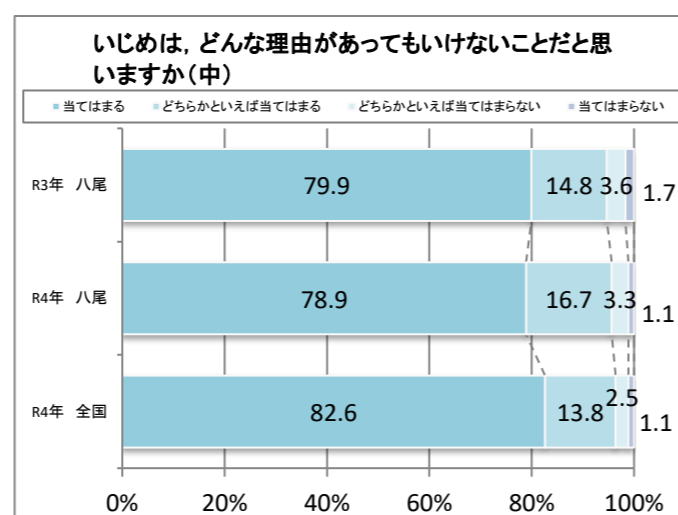
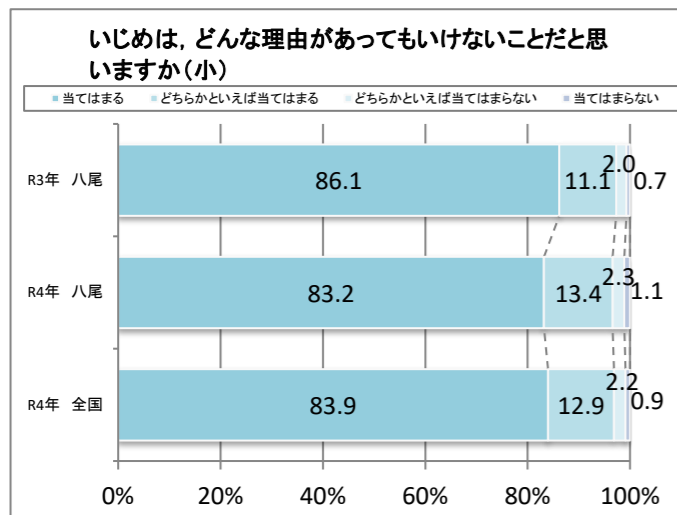
自己肯定感について



将来について



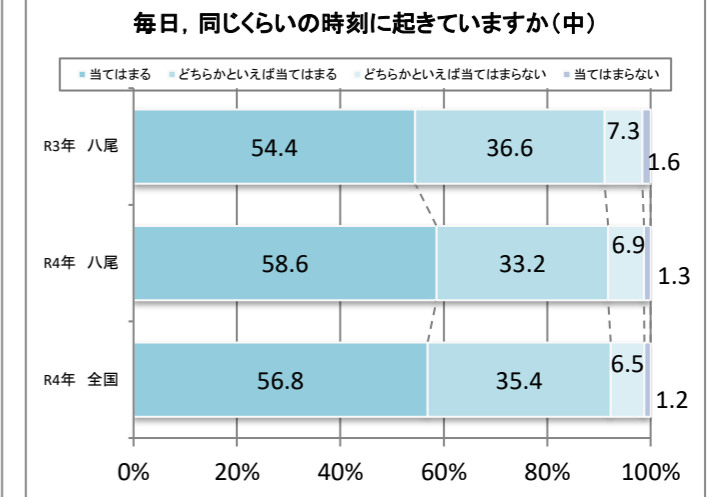
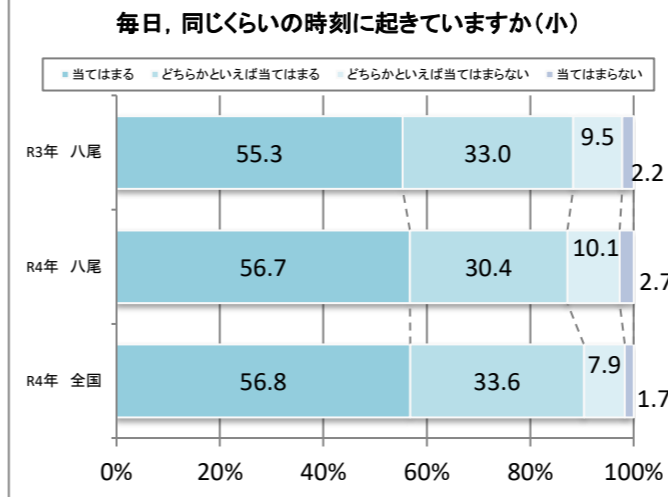
いじめについて



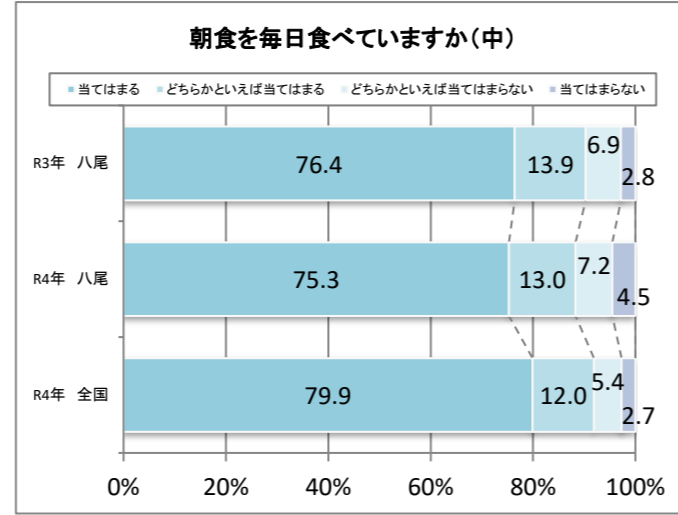
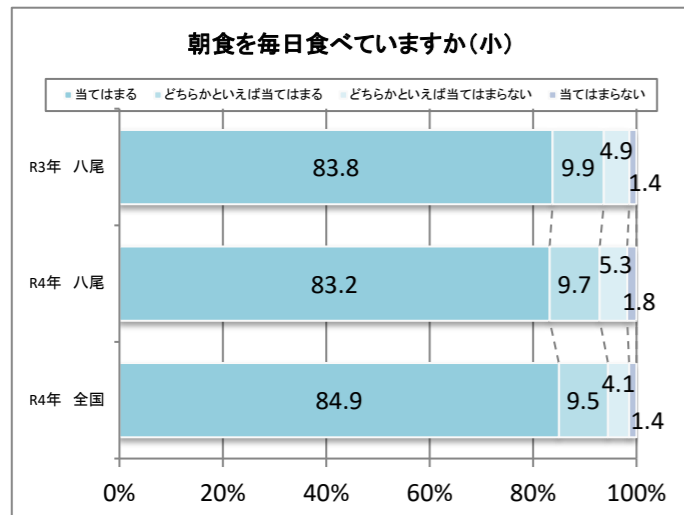
基本的な生活習慣について

- 中学校では、「毎日同じくらいの時刻に寝ている」「毎日同じくらいの時刻に起きている」と答えた子どもの割合が増加した。
- ◆ 小学校では、「学校での授業以外に、読書を全くない」と答えた子どもの割合が増加した。
- ◆ 小・中学校ともに、「朝食を毎日食べている」と答えた子どもの割合が減少した。
- 引き続き、家庭と連携して生活習慣の改善に努める必要がある。

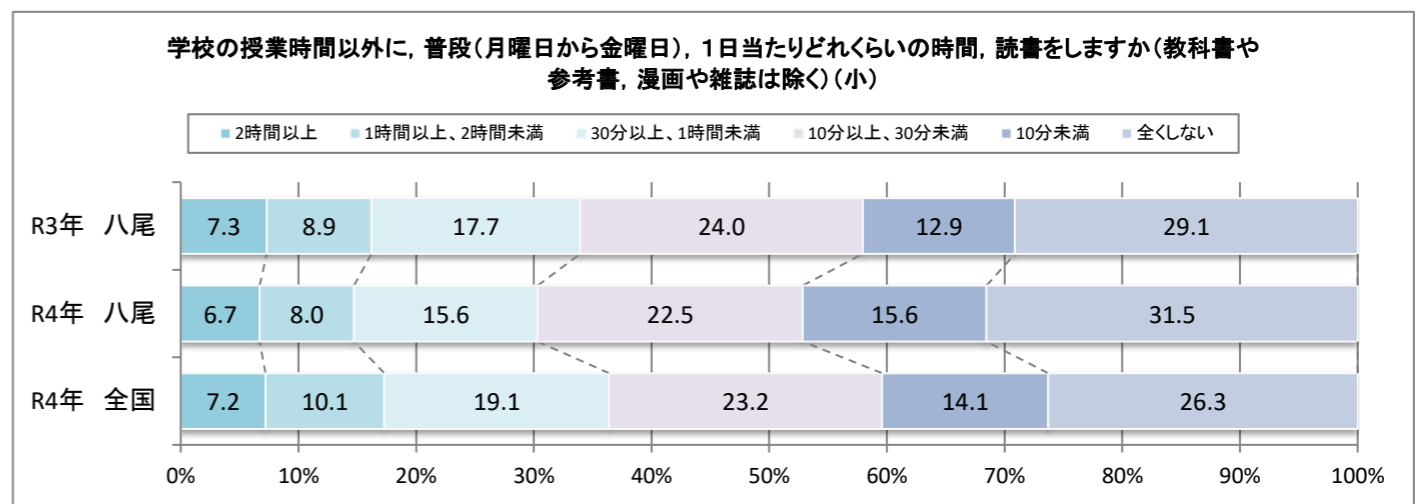
起床時刻について



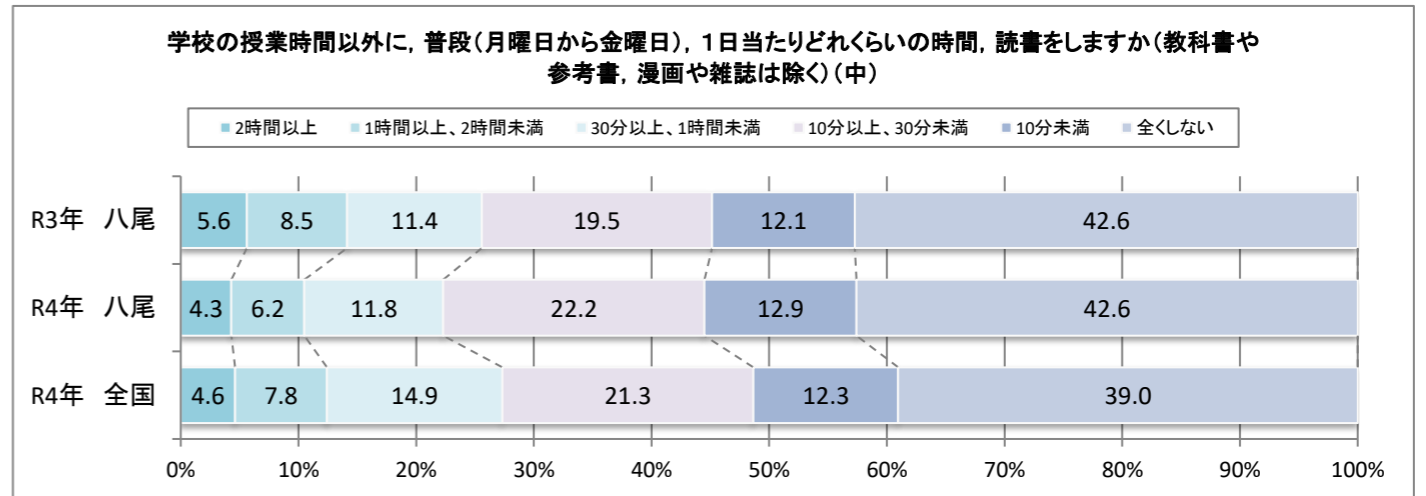
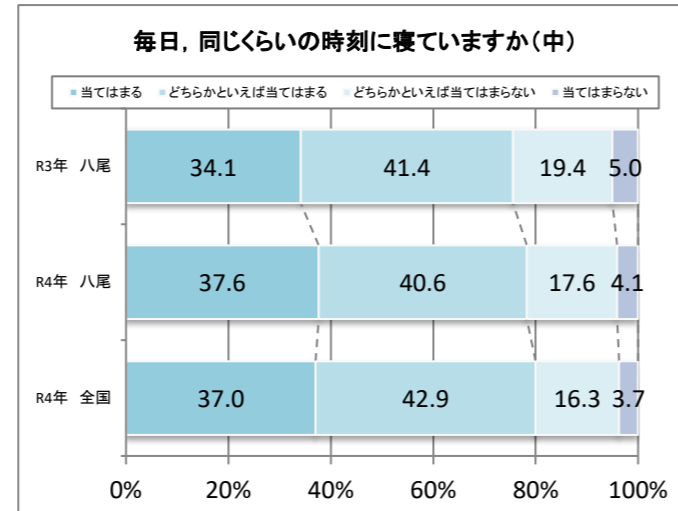
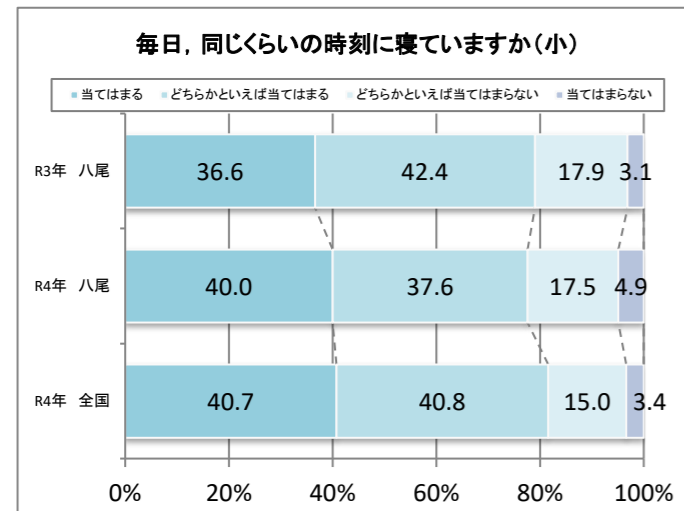
朝食について



読書時間について



就寝時刻について



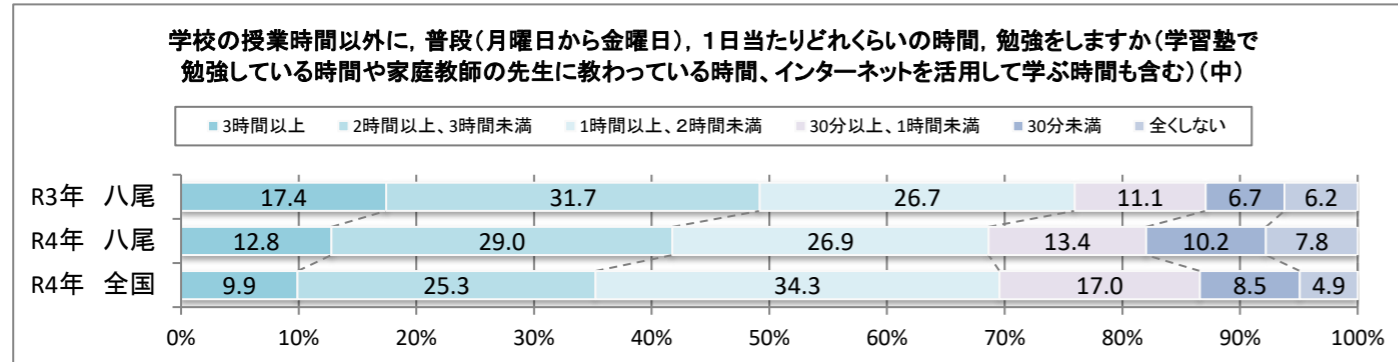
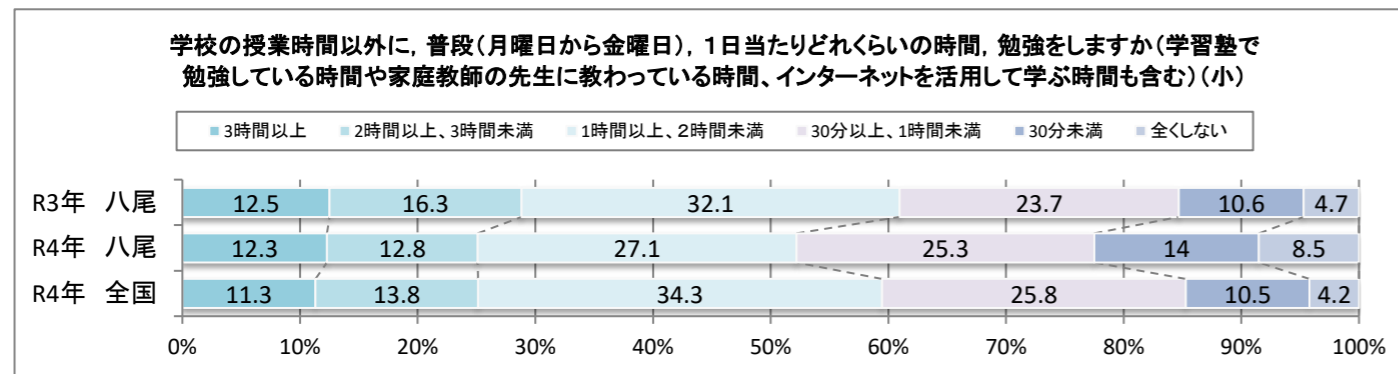
令和4年度 全国学力・学習状況調査

児童・生徒質問紙の調査結果について ③

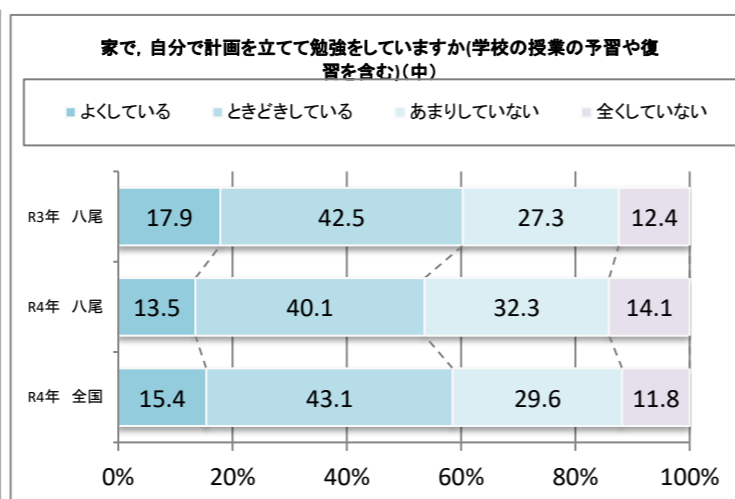
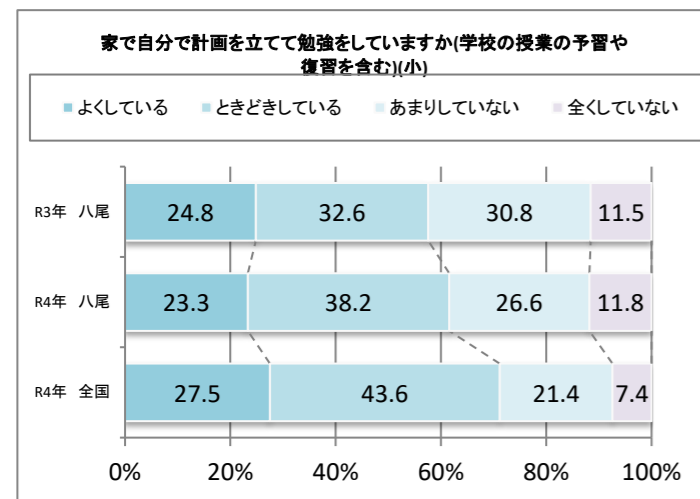
家庭学習・授業について

- 小・中学校ともに「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と答えた子どもの割合が増加した。
- ◆ 小・中学校ともに、「学校での授業以外に、勉強する時間が1日当たり30分未満」と答えた子どもの割合が増加した。
- ◆ 小学校では「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と答えた子どもの割合が増加しているが、まだ全国との差が大きい。
- 効果的な家庭学習の方法についての啓発が今後も必要である。また、児童生徒一人ひとりの良さを認め、自尊感情を高めるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点にたった授業づくりに、より一層取り組む必要がある。

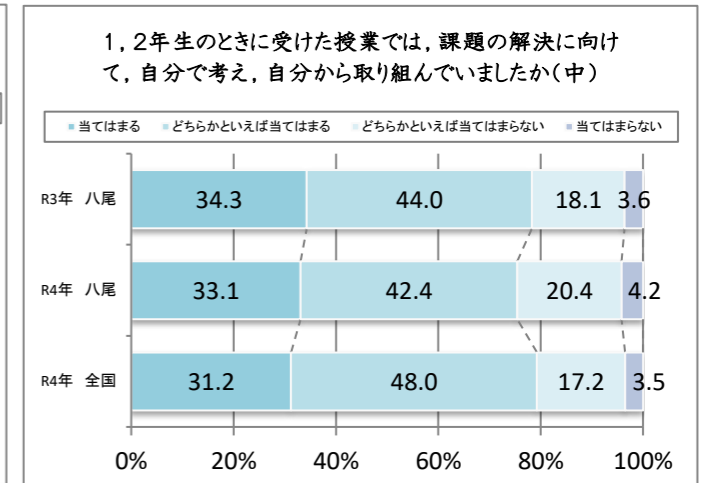
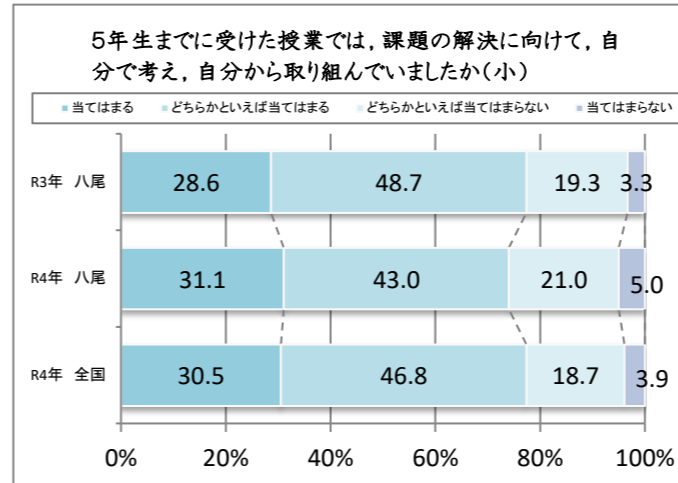
授業以外の家庭学習時間について



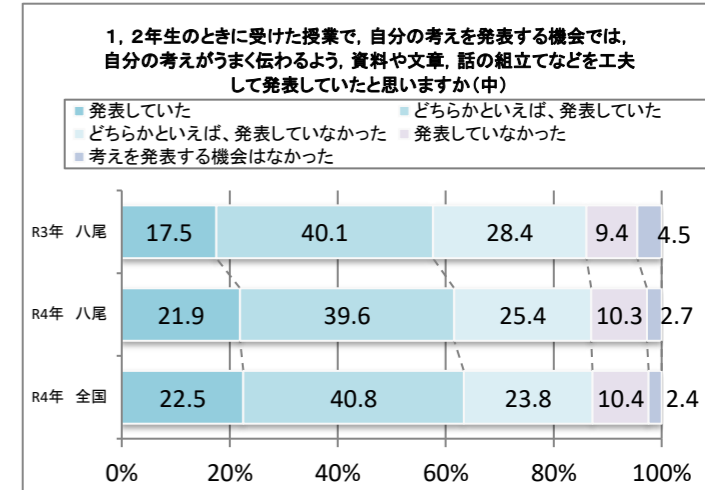
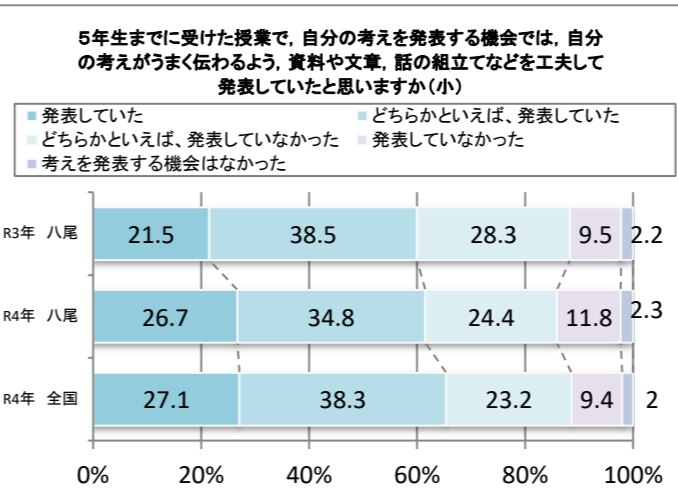
自学自習について



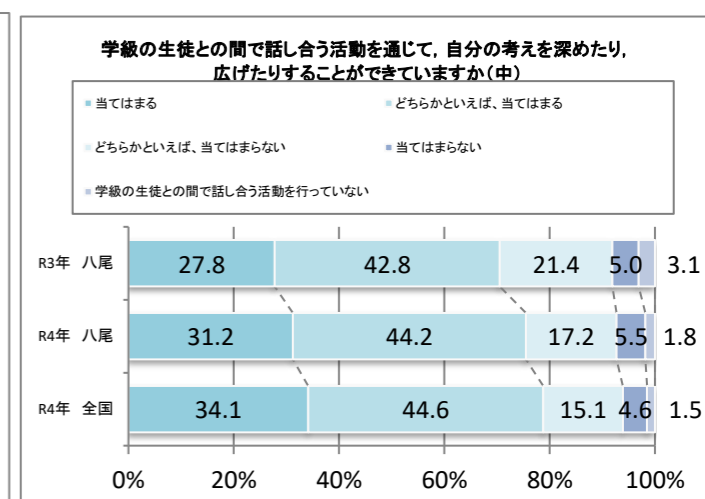
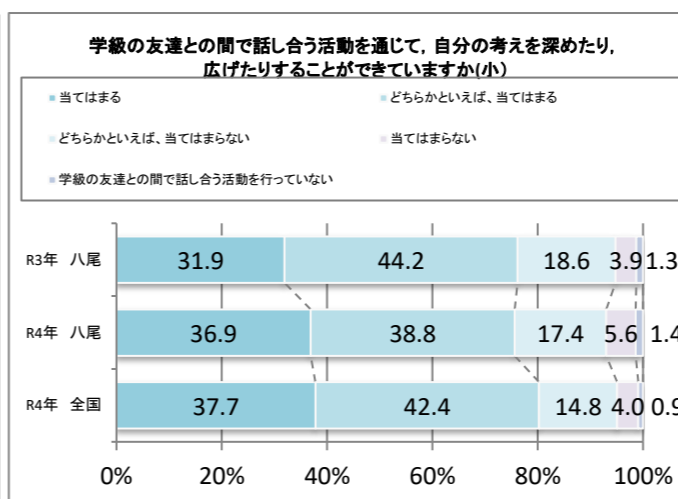
授業における主体性について



授業における発表の工夫等について



授業における話し合う活動について



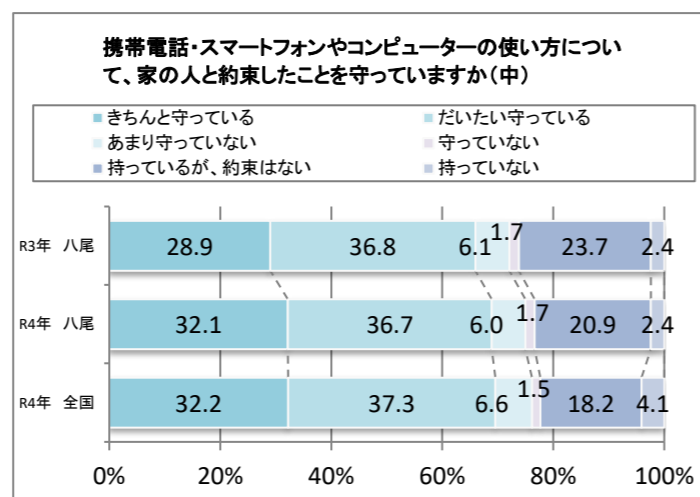
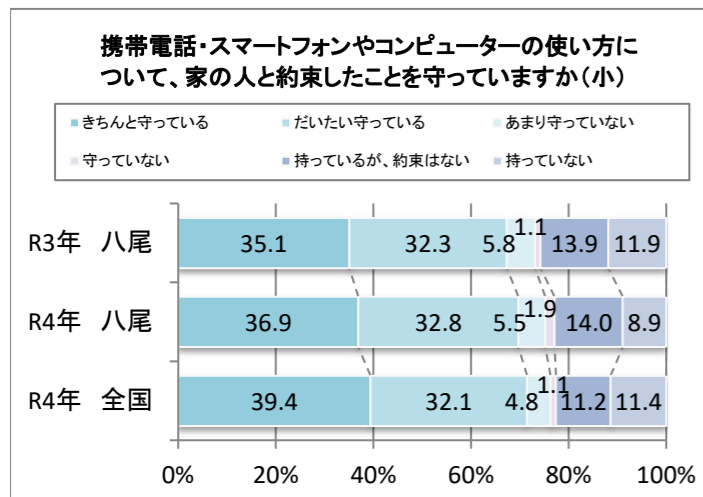
令和4年度 全国学力・学習状況調査

児童・生徒質問紙の調査結果について ④

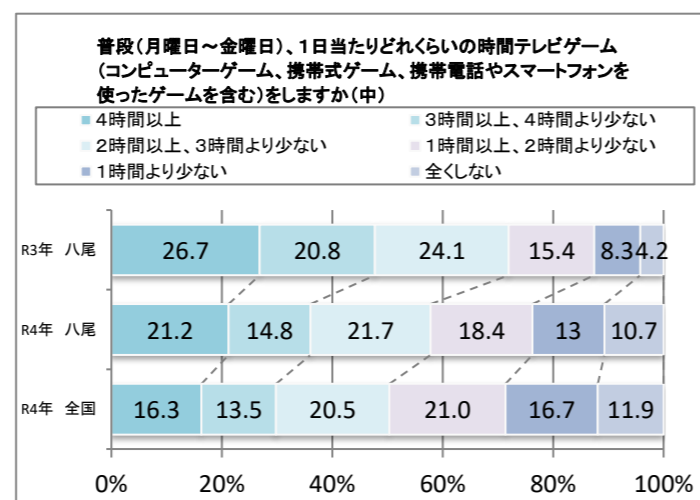
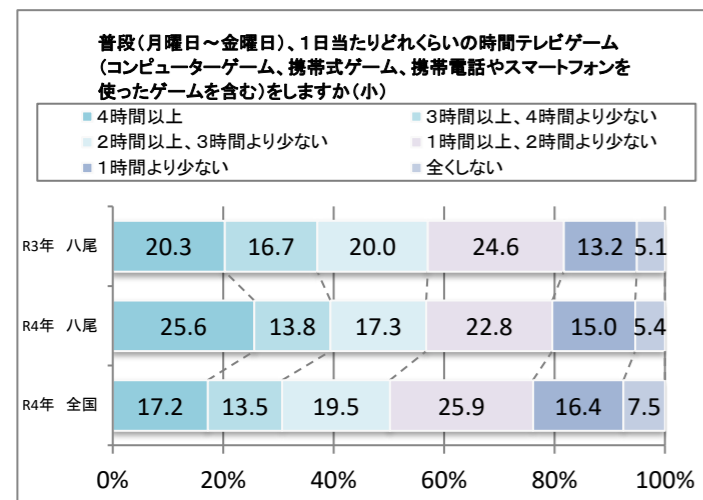
携帯電話・ICT機器について

- 小・中学校ともに授業中のICT機器の活用状況において、「ほぼ毎日」と答えた子どもの割合が全国と比べて高い数値となった。
- 中学校では、「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つ」と答えた子どもの割合が全国と比べて高い数値となった。
- ◆ 小・中学校ともに、「携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っています」と答えた子どもの割合が全国と比べ、低い値となっている。
- ◆ 小・中学校ともに、ゲームをする時間が1日あたり4時間以上と答えた子どもの割合が2割を超えており、全国と比べて割合が高い値を示している。
- 児童生徒が適切な使用や使用時間を守るなど、自主管理能力を育成するとともに保護者への啓発活動を充実していく必要があります。また、教員のICT活用指導力および子どものICT活用能力を向上させ、自分の意見や考えを他者に伝える活動を充実させる必要があります。

携帯電話等の使い方について



ゲームの使用について



ICT機器の活用について

